

「十勝三股森づくり 21」普及活動（動画作成）

「十勝三股森づくり 21」普及活動実行委員会

私たち「十勝三股森づくり 21」は大雪山国立公園内上士幌町三股地区で、過去の森林資源の利用により生じた亜高山の帯土場跡で森林の再生を目指して、過去 24 年間活動をしてきました。

標高 900m の高地、平均気温が 1.5℃の亜高山帯で、森林の再生がみられず放置されている数多くの土場跡（貯木場等）は、人が手助けすることで森林の再生が可能であることが実証され、大きな成果を残しました。

活動の過程で得られた知識・技術・方法は森林再生に取り組んでいる方々にとって大切な指針になると思います。

この度、我々の活動を記録した動画「大雪山国立公園 亜高山帯の森林再生」が、前田一步園財団の助成により作成されましたので、インターネット動画サイト YouTube で公開いたしました。また、動画は DVD にて営林署などの林野関係、図書館、研究機関、自然保護団体等に配布いたしました。

自然環境の保全に森林の果たす役割はとても重要であることは言うまでもありません。多くの方々にご覧いただけたらと存じます。

森林再生作業は、会長であり環境林づくり研究所所長・北海道開発技術センター研究顧問の斎藤新一郎先生（元北海道立林業試験場 道東支場長、農学博士）の指導のもと行われました。

YouTube にて動画を公開しております。

●十勝三股森づくり 21 及活動実行委員会 YouTube アカウント

<https://www.youtube.com/@moridukuri21>



また、森林再生活動を行っていた「十勝三股森づくり 21」の既存のホームページには資料等も掲載しています。

●十勝三股森づくり 21 ホームページ <https://www.moridukuri.org/>



現在、「十勝三股森づくり 21」の森林再生作業は、木々の成長に伴い作業の必要性が無くなったと判断し終了、今後は年 1 回森林再生現場の観察会を行っていく事として会は解散しました。

現在は会員の有志が普及活動実行委員会として活動しています。